



EVENT

イベントのお知らせ

BOOK FESTA JAPAN 2020

ブックフェスタ・ジャパン 2020

2020.9.20(日) - 10.18(日)

日本中が本で繋がる30days!

ブックフェスタジャパン2020オンライン開催

同時開催 マイクロ・ライブラリーサミット 9/27(日)



詳細は公式サイトにて

<https://bookfesta.machi-library.org/>

New!

まちライブラリーの紹介

新たに仲間入りした各地のまちライブラリーです。

開館日時など詳細は、まちライブラリーHP「まちライブラリーに行こう!」で検索できます。

(No. は登録番号です)

NO. 783 (神奈川 横須賀)

子どもと若者の図書館「衣笠駅徒歩1分図書館」

駅前懐かしい雰囲気のアパートにオープンした、本をとおり子どもと若者たちに必要な情報と安心を届ける場所です。フリールームも併設しています。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/kinugasa.Lib/>

• オーナー: 北川幸子

NO. 784 (長野 佐久)

まちライブラリー@ワークテラス佐久

コワーキング&サテライトオフィス「ワークテラス佐久」のまちライブラリー。いろいろなつながりをこの場所で創っていただければ幸いです。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/sakusakusakk/>

• オーナー: 株式会社MoSAKU

NO. 785 (島根 大田)

まちライブラリー@ きよさん文庫 & 吾鳥絵はるさん

※2021年早春開館予定

世界遺産石見銀山の中にある明治時代に建てられた古民家を利用した本と絵画のまちライブラリーです。森山家の画家の作品展示等を中心に公開します。

• オーナー: 森山春樹

NO. 786 (岩手 盛岡)

ソノツヅキまちライブラリー

塗装屋さんのオフィスの上に、多機能塗料の体感ショールームを兼ねたコミュニティスペースとしてオープン! 盛岡市第1号のまちライブラリーです。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/kawakamitosou/>

• オーナー: 川上塗装工業株式会社

NO. 787 (埼玉 鶴ヶ島)

つるがしまどこでもまちライブラリー@Takaya

あまり気を張らずにコーヒー1杯で読める気軽な本(スタッフの好み)が揃った喫茶店のまちライブラリーです。お気軽にどうぞ。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/takaya.tsurugashima/>

• オーナー: Takaya

NO. 788 (神奈川 横浜市緑区)

まちライブラリーいっぽ@十日市場

子育て支援拠点いっぽの入口にできた小さなまちライブラリー。子育てに関わる人の「その時に大切な本」を集めています。

• Web: <https://www.midori-ippo.com/>

• オーナー: 横浜市緑区地域子育て支援拠点いっぽ

NO. 789 (神奈川 横浜市港北区)

COCOひよし

「プラウドシティ日吉レジデンス」の地域貢献室ACTO日吉に誕生した「子育て支援スペースCOCOひよし」のまちライブラリーです。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/binobino.npo/>

• オーナー: 特定非営利活動法人びーのびーの

NO. 790 (東京 国立)

まちライブラリー@くにたちダイヤ街

「まちの本屋さん」小鳥書房さんの2Fギャラリーを臨時で借りして9月12日からオープン。国立市で学ぶ若者と市民の皆さんにとって「居心地のよい場所」を目指します。

• オーナー: 林大樹

NO. 791 (新潟 長岡)

まちライブラリー@徳聖寺

真言宗の研究書をはじめ、仏教を学ぶ上での基礎的な書籍のほか、仏教系の漫画や寺院建築、仏像、茶道(宗偏流)やピハハラ(終末医療)に関する本もあります。ご自由にご活用いただければ幸いです。

• Facebook:

<https://www.facebook.com/tokushoji736>

• オーナー: 徳聖寺 中村賢識

(千葉 君津)

NO. 792

きみつまちライブラリー in こいと

親子がゆったり過ごせるスペースで、気軽に読書を楽しんでみませんか? 公民館にできた絵本を中心としたまちライブラリーです。

• オーナー: 君津市小糸公民館

NO. 793 (石川 加賀)

おんせん図書館みかん

山代温泉のローカルコミュニティカフェ&コワーキングスペースを改装して作られた民間図書館です。人が参加することで成り立つ「未完」の場として9月にオープン!

• Facebook:

<https://www.facebook.com/YamashiroCodon>

• オーナー:

一般社団法人Next Commons Lab 加賀営業所

珠玉の言葉

今年の夏はマスクの着用ということもあって、例年以上に厳しい暑さを感じた方も多かったのではないのでしょうか。そして世界中で、未ださまざまな変化を余儀なくされている状況が続いています。

さて、いよいよ「ブックフェスタジャパン2020」が9月20日(日)から各地で運営されます。それに先駆けて、9日(水)には石川県加賀市の「おんせん図書館みかん」のオンラインイベントで、まちライブラリーについてお話をさせていただきました。初日のオープニングイベントをはじめとして、22日(火・祝)には作家・原田マハさんを交えて焚火を囲んでのトークイベント、27日(日)にはマイクロ・ライブラリーサミットなど、日本中が本で繋がる30日間(10月18日まで)が開催されます。皆さん、お時間の許す限りご参加いただくか、あるいはネットでご覧いただければと思います。

新型コロナウィルスの感染拡大に翻弄されつつあったこの春、私はまちライブラリーの研究を博士論文としてまとめ、今年はその内容を発表することから活動を始めました。そして、これまでにまちライブラリーに関わってくださった方や関係者の方々に論文冊子を送付させていただきました。

そうした中で、学生時代に出会った「ラブリ

バー多摩川を愛する会」を主宰していた方から、先日、論文の感想をいただきました。まちライブラリー活動の原点ともいえる「ラブリバー多摩川を愛する会」の活動に参加した経験を論文冒頭に記したこともあり、その方に論文の冊子をお送りしていたのです。

その方は、当時、多摩川の環境破壊を憂いて、お仕事の傍ら個人的な活動として「ラブリバー多摩川を愛する会」を立ち上げられました。大学生だった私は、学生ボランティアとして河川のごみ拾いや灯笼流しなどのイベント、また裏方の仕事などをお手伝いさせていただいたのです。この時の出会いが、地域とのつながりの大切さや個人が行動することの大切さを学ばせていただく機会になりました。

あれから40年以上が経ち、まさか私自身がまちライブラリーという活動を始めるとは想像さえしていませんでしたし、改めて当時の出会いに不思議な縁を感じずにはられません。

その方はお手紙の中で、「ラブリバー多摩川を愛する会」とまちライブラリーには、立ち上がりの過程で共通するものがたくさんあると感じたと述べておられました。もちろん、当時の社会情勢と今日のそれは違いますし、彼と私では、仕事の分野も違います。しかし会社で仕事をし

位置の関係に悩む姿が重なるというのです。彼はそうした中で個人的な発意から活動を立ち上げたのだと書かれていました。実は私も同じようなことを10年くらい前に体験し、そこからまちライブラリーを立ち上げたわけですが、彼は私の論文を読み、そこに記された軌跡のひとつひとつに賛意を表してくださったのでした。個人の思いで始めた活動がいつしか賛同者を集め、大きなうねりを生み出すことを教えてくれた方からこのような感想をいただくことは、改めてまちライブラリーの活動を論文にまとめた甲斐があったと、とてもうれしく思いました。

また、お手紙の中で、その方は非常に心に残る2つの言葉を私に教えてくださいました。

一つ目はその方の御祖父様の残された「圧制が革命の母であるように、困難は勇気の母であります」という言葉です。政治家であった御祖父様のこの言葉は、私自身が「会社人間」から「社会人間」に戻っていくきっかけとなった困難を思い出させてくれる言葉でした。

もう一つは、御祖母様がラブリバーの活動紹介の記事を読んだ時にかけてくださったという言葉で、「ことを成すには心と力の二つが必要です。心があっても力が無ければ実現できません。また、力があっても心が無ければことを成すことはできません。ラブリバー運動はあなたの〈心〉を

支えてくれる〈力〉があったから実現できたのです」というものです。その方はご自身のかつての活動を思い出すとともに、私にもこの言葉を分け与えてくださったのだと思います。たいへん胸に響くものであり、過分な言葉をいただいたと思っています。

まちライブラリーが今日、このように広がりを見せ、いろいろな方にやっていただけるようになったのは、かつての私と同じような気持ちを持っている人がそれだけたくさんいるということだと思います。各地でまちライブラリーを運営してくださっている方、利用されている方、ボランティアで手伝ってくださっている方に、心から深く感謝いたします。

「ブックフェスタジャパン2020」が、そうした皆さんとの出会いとなり、さらに想いと活動が広がっていく機会になることを願っています。

2020年9月

まちライブラリー提唱者 磯井純亮
連絡先 mail: MSJ00657@nifty.com